

## 令和 4 年度 第2回 大阪市立難波中学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立難波中学校  
 校園長名 鍋谷 賀都緒

実施方法		新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとり、対面と書面で実施	
日時 場所		対面：令和 4 年 12 月 6 日（火）18 時～19 時 1 階多目的室 書面：令和 4 年 12 月 7 日（水）～23（金）書面での意見交換	
出席者	委員など	<対面>坂本 安敏（委員） 何 一民（委員） <書面>脇原 健二（委員） 豊嶋 瞳子（副会長） 潮 秀樹（副会長） 井上 隆裕（委員） 浅田 正仁（委員）	
	校園	鍋谷 賀都緒（校長） 田中 寿典（教頭） 上地 翼（生徒指導主事）松山裕亮（2年学年主任）平島 陽介（人権教育主担） 谷口 英代（学校元気アップ地域コーディネーター）	
	区役所	松村 智志（教育・学習支援担当課長）	
議題		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「運営に関する計画」（中間評価）について（各種のテスト結果も含む）</li> <li>2. 「校長経営戦略支援予算の執行状況」など添付資料について</li> <li>3. 連絡事項、情報交換など</li> </ol>	
報告 ・ 協議 要旨		協議の結果	報告・意見の概要
		1 今回の学校協議会については参加人数がすくないため、会は進めるが、書面や別日程でも実施する確認を行う。	冒頭に対面での参加人数の状況や確認を行い、教頭が司会進行のもと委員の状況を説明し、学校の現状を報告する旨など確認をとることができた。
		2 「運営に関する計画」の（中間評価）現状や課題の把握より取組内容、状況を確認した。	運営に関する計画（中間評価）について、現状の課題や取組を説明し、今年度の 3 つの柱に沿った細かな取組内容を確認。添付資料も参考にしながら、今年度の取組内容について確認を行った。
		3 「各種実施済みのテスト」結果の確認を行い、状況を承認された。 「不登校対策」においての現状や取組を説明し、承認された。	チャレンジテスト、リーディングスキルテストなどの結果を説明し、理解を得た。 不登校対策の取組内容も含め、報告。不登校生徒の現状や学校の取組を評価してもらえた。

報告 ・ 協議 要旨	4	「学校元気アップ地域本部事業」の今年度（12月まで）の活動結果について報告。	「学校元気アップ事業」についてテスト前学習会や図書開館日の参加人数など取り組み結果をコーディネーターより報告。 参加人数が増えているため、サポートしてくれる人材が必要で、広げていくことが課題となっている。
	5	意見交換を行った。（書面も含む） 協議員それぞれからの意見あり ・不登校の現状について ・さざなみルーム（不登校対策）設置に関して ・各種テストについて ・保護者へ対応や状況について、アプローチの仕方などについて	不登校生徒の割合が想像しているより多いことに正直驚いている。いじめアンケートだけでなく、生徒の不安材料の分析を何らかの形で行い、対応にあたる事も必要かと感じる。ハイパーQU やリーディングスキルテストの実施は素晴らしいと思う。分析して今後の取組に活かしてほしい。 今後高校進学に関して英語力を伸ばすことが重要視されている事に対しての対策に重点を置く必要性を感じるが、現場の捉え方はどうなのか知りたい。 不登校生対策としての生徒や保護者との関わり、保護者への連絡や対応などの状況の説明を学校側から行った。
	6	連絡事項の確認 情報交換の実施	今後の予定や学校ホームページでの情報提供について等の連絡を行った。 浪速区では難波中学校の HP が一番見やすいとの意見もあった。
配付 資料	(学校より) ・運営に関する計画（中間評価） ・校長経営戦略支援予算使用状況 ・各種テスト結果 ・学校元気アップ地域本部事業 活動報告 ・その他 資料		
備考	傍聴者[ 0 ]名 問い合わせ等もなし ※12月の協議会実施は各委員さんも予定はしているが、急な仕事の都合での欠席が多い。再度の日程調整も難しい。来年度は10月に実施予定である。		